



嬉野市民ワクワクデザインII 令和8年

嬉野市教育委員会
社会教育課

社会教育において「いつでも、どこでも、だれでも」学びたいという気持ちが叶えられ、豊かで充実した人生を送ることができる「嬉野市民」の育成

温故(不易)と創新(流行)による具体的なプラン

プラン① 図書館サービス推進事業

1) 窓口サービス、情報発信の充実(温故)

- ・ 利用者のニーズに応じた窓口サービスの提供、特集コーナー等の内容の充実に努め、本と人を繋ぐ図書館としての機能の拡充を図る。また、広報等活用し情報発信の促進に努める。
- ・ 図書館システムや県内の図書館との連携機能を周知し、利用者への活用を推進することにより、読書意欲の向上を図る。



2) 本に親しむ環境づくりの推進(温故・創新)

- ・ 幼稚園、保育園等への巡回・配本、学校や施設等への配本、ブックスタート事業及び遠隔地区への巡回を通して、子どもから高齢者まで本に親しむ環境づくりの推進に努める。



3) 市民に寄り添った読書環境の充実(創新)

- ・ 幼児・高齢者・障がい者・外国人などサポートが必要な方に自然に寄り添い、利用しやすい環境を整えることで図書館を心地良い空間として活用してもらうよう努める。

プラン② 文化財の保存・活用事業

1) 文化財の保存・活用(温故・創新)

- ・ 国の天然記念物「嬉野の大チャノキ」の再生事業に取り組み、樹勢回復を図る。
- ・ 誘客のため、歴史や写真、地域の取り組みについて、公開整備に取り組む。



【嬉野の大チャノキ】

2) 町並み保存(温故・創新)

- ・ 伝統的建造物群保存地区が将来にわたり継承されるよう、住民協力のもと保存修理を行い町並みの保存と活性化を図る。
- ・ 映像設備や公衆トイレを備えた「塩田津まちなみてらす」を活用しながら、来訪者が利用しやすい環境を整え、新たな塩田津の拠点とし、情報発信の場として展開する。



【塩田津の町並み】

3) 埋蔵文化財の保護(温故)

- ・ 埋蔵文化財と開発行為の調整を図り、次世代が活用できるように遺跡の保護に努める。
- ・ 防災の観点から災害痕跡を発見した場合は、市役所防災担当に情報共有を図り、国土強靱化に貢献する。

プラン③ 文化の振興と環境づくり推進事業

1) 地域に根差した文化振興(温故)

- ・ 各種イベント等で文化を身近に触れ体験することで市民の文化振興に対する理解を促し、市民の文化に対する高い意識の醸成を行い、地域における各世代間の交流を基に文化振興の継承を図る。



【伝統芸能継承事業】

2) 組織整備による環境づくり(創新)

- ・ 第2期文化振興計画の策定に伴い、今後の文化振興に反映しながら施策を展開し、5年後の成果目標に向け計画の着実な推進を図る。

プラン④ 次世代を担う青少年の育成事業

1) 青少年の育成事業(温故)

- ・ 地域及び関係機関との連携を更に強化しながら、様々な体験・学習ができる場としての育成事業を展開し、青少年が豊かな人間性を育み、地域一体となった青少年の健全育成の向上を図る。



2) 放課後子ども教室事業(創新)

- ・ 放課後や休日に子どもたちが安全・安心して過ごせる居場所を設け、地域全体が子どもたちと関わりを持ち異世代との交流の場を提供する。また、青少年が心の豊かさ、生きる力を養える環境の整備を推進する。



【登山体験】

プラン⑤ 生涯学習のまちづくり推進事業

1) 講座・教室の充実(温故)

- ・ 生涯学習による生きがいや健康づくり、地域づくりに寄与するため学習の機会や場所としての講座・教室の充実を図るとともに、世代間交流型の講座の導入など地域全体で学ぶ場所の創出や、情報社会に必要な情報リテラシーなどの講座を開催する。



【シニアのための
スマホ教室】

2) 出前講座の活用と充実(創新)

- ・ 自主的なサークル活動や地域活動を促進するため、出前講座の内容や講師陣の充実に務め、より幅広い市民の学習活動の支援を推進する。

プラン⑥ スポーツのまちづくり推進事業

1) 市民の体力向上と生涯スポーツの普及(温故)

- ・ スポーツを通じた、地域活性化、健康増進による健康長寿社会の実現を図るため、スポーツ推進委員や各地区スポーツ部長、嬉野市スポーツ協会、総合型うれしのほほんスポーツクラブと連携協力し、スポーツに親しむ環境を整える。
- ・ スポーツイベントを通じて市民のスポーツへの関心を高めるとともに、参加へのハードルを下げるようなイベント事業を開催することで、市民の生涯スポーツの普及を図る。



【中央体育館 U-Spo】

2) プロスポーツの感動を享受できる環境整備(創新)

- ・ 国内外で活躍しているトップアスリートからの直接指導や講義、または試合観戦等の体験を通じて、スポーツの素晴らしさを体感できるような機会を創出し、将来への目標を持つ一助とする。